

# 2011年10月理事会報告

100%

**100% Clarity**

## 2011年度半期決算概要

今期上半期末の剰余金は800万ドルに達し、自由準備金・資本金は4億7,800万ドルから4億8,600万ドルに増加しました。

UKクラブの財務状況は、この3年間にかなり改善されました。現時点での総資産は16億ドルを超えています。

### コンバインド・レシオ

2011年度の予想コンバインド・レシオは100%を下回っています。年度末にこれが達成されれば、当クラブとして2年連続で収支の均衡がとれる事となります。当クラブはコンバインド・レシオを100%とする長期目標を達成することを継続して参ります。

### 自由準備金及び資本金

今年度半期決算における剰余金は800万ドルに達し自由準備金にハイブリッド資本を加算した金額は、4億7,800万ドルから4億8,600万ドルに増加しました。

スタンダード&プアーズの資本モデルにおける当クラブの自己資本は現在AAAクラスです。これに加え、加入総トン数あたりの自由準備金の額は、4.5ドルであるということで、他のP&Iクラブの中でもトップクラスの財務状況であるといえます。

### 2012年度保険料 - General Increase

2011年10月の理事会では、2012年度のジェネラル・インクリースは3%と決定しました。なお、国際グループの再保険コストが別途調整されます。

4.5ドル

加入総トン数あたりの自由準備金

16億ドル超

総資産

4億8,600万ドル

自由準備金及び資本金

\* 本誌は、2011年10月17日に開催されたクラブ理事会の英文報告書「October Review 2011」の日本語版です。

## 半期末決算のハイライト

今年度予想コンバインド・レシオは100%を下回っており、これが期末に達成されれば当クラブとして保険収支の均衡を2年連続で達成することになります。

### 財務基盤

- 半期末資本金及び準備金は4億8,600万ドル
- 加入総トン数あたり資本金・準備金は4.5ドル
- S&P資本モデルにおける自己資本はAAA
- S&P格付はA- (Stableアウトルック)

### 保険金

- 2011年度は6カ月経過時点で良好に推移
- クレーム支払備金は保守的な見積を維持
- プール・クレームは好成績を維持
- プールは6,800万ドルの抛出超過で好成績

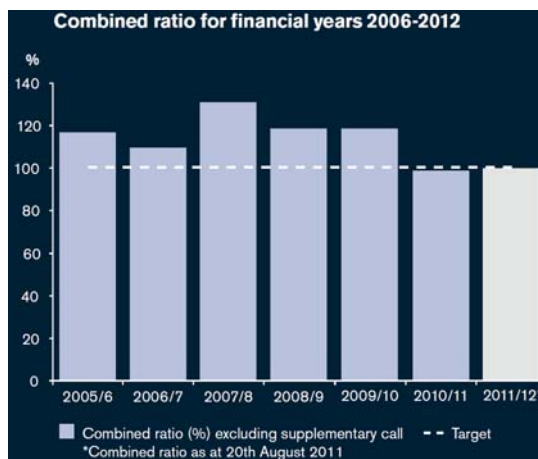
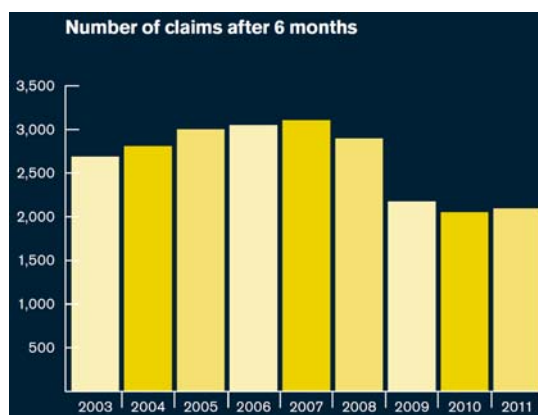
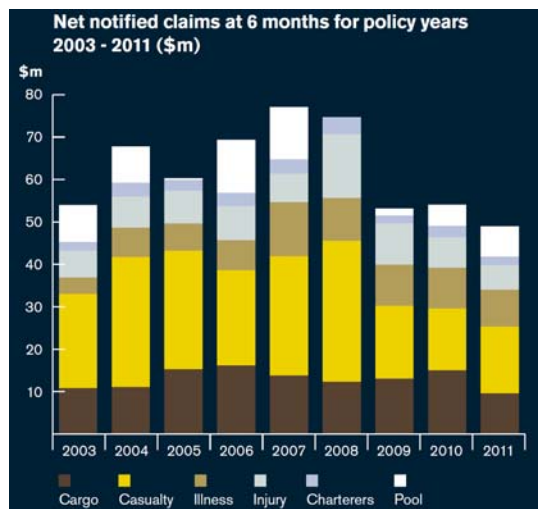
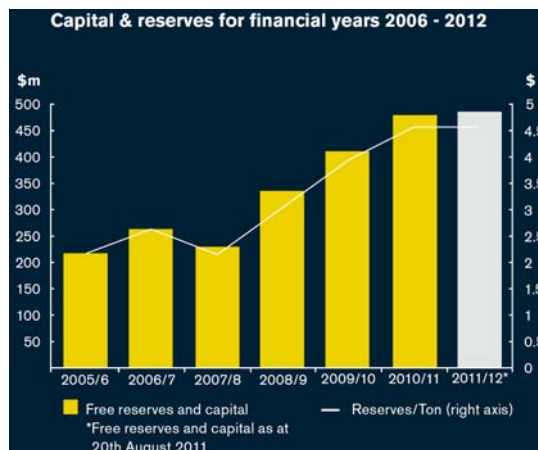
### クレームの発生件数

- 2009、2010、2011年度のクレーム発生件数は激減
- 全ての種類のクレームでその発生件数が減少

### 保険契約の締結方針

- コンバインド・レシオ100%の目標を達成
- 2011年度上半期もコンバインド・レシオは100%

コンバインド・レシオとは、  
保険会社の収益力を図る指標。100%を超えると  
収益より支出が多いことを意味します。



## クレームの概要

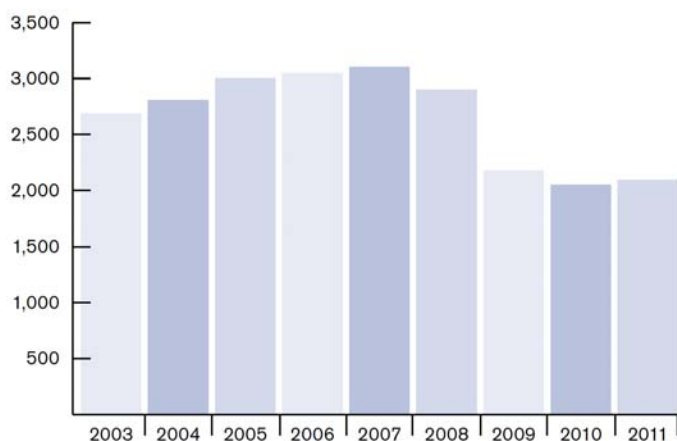
2011年度上半期、クレームの状況は海運市場の低迷により、低レベルで推移しており、現在、2011保険年度のクレームの状況は2009年度の動向に類似しています。しかしながら、今年度クレームの推移や最終予想保険金額は、今年下半期のクレームの状況によっては、急激に変化すること考えられます。

もしクレームが下半期も低調に推移するのであれば、今年度はここ10年間で最もクレーム成績の良い年度となると思われます。2011年度上半期の貨物クレーム件数は2008年度の76%であり、傷病クレーム件数は2008年度同時期の件数の67%に落ち込んでいます。

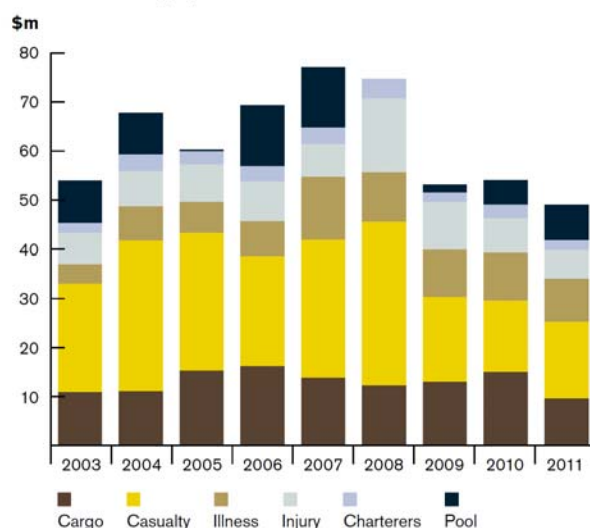
### 過去の保険年度

過年度、特に2008年、2009年、2010年度も改善の傾向を示しています。今期上半期の時点で、保険金に関する従来と同様の見積信頼度を維持しながら、クレーム支払備金を2,500万ドル減額する事ができました。当クラブの見積マージンは、過年度の保険金が予想外に悪化した場合でも、準備金を取崩すこと無く調整する事ができるという事を意味します。

Claims frequency after 6 months



Net notified claims at 6 months for policy years 2003 - 2011 (\$m)



2011 保険年度は  
ここ10年間で  
当クラブにとって  
最良の保険年度と  
なる可能性があります。

## 潜在的な保険金のインフレ

クレームの金額は潜在的に毎年約5%程度上昇しており、クレームの種類によっては15%もの上昇がみられるものもあります。海運マーケットが低迷している間は、保険金総額は、クレーム件数の減少により過年度よりも低レベルで推移する事が考えられます。海運マーケットがいつ回復するかを予測することは難しく、ある分野あるいは世界のある地域が、他より早く景気後退期から抜け出して、結果的にクレームの上昇につながる事もあり得ます。

## 疾病クレーム

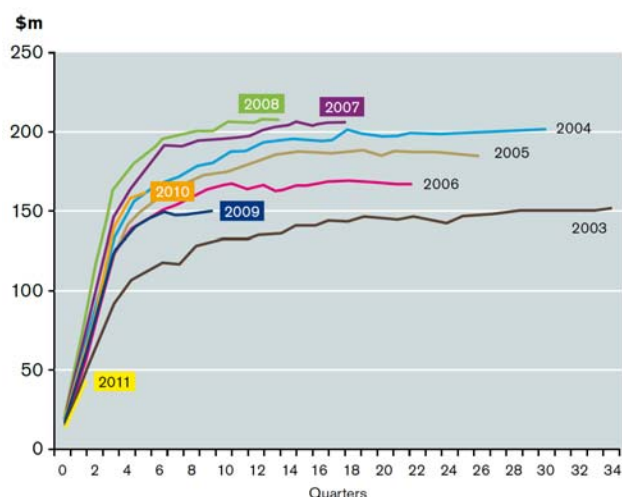
疾病クレームは、過去の保険年度を通じ、際立って改善したカテゴリーで、高額クレームの件数は予想を下回り、少額クレームも改善が見られています。報告クレームの件数は過去数年間、減少傾向にあります。

## プール・クレーム

海運市場が最も活況を呈していた2004年、2006年及び2007年度に、プール・クレームはとても厳しい成績で推移してきましたが、その後、プールに至るようなクレームは減少しています。2008年度には、クラブ保有クレームが上昇しましたが、高額なプール・クレームはそれほどではありませんでした。逆に当クラブのクレームがプールの高額クレームとなった2009年及び2010年には、当クラブの保有クレームはかなり減少しています。このことはプール・クレームが本質的に、ランダムに上下する性格を持っていることを明確に示しています。

当クラブの2008年、2009年及び2010年度のプール・クレームの総コストは、予想範囲内にとどまっております。クラブ独自の再保険を契約することでそのコスト上昇を抑える手当をしています。現在当クラブのプール・クレームの負担金は、回収額を6,800万ドル程上回っています。

Net retained claims as at 20th August 2011 (\$m)



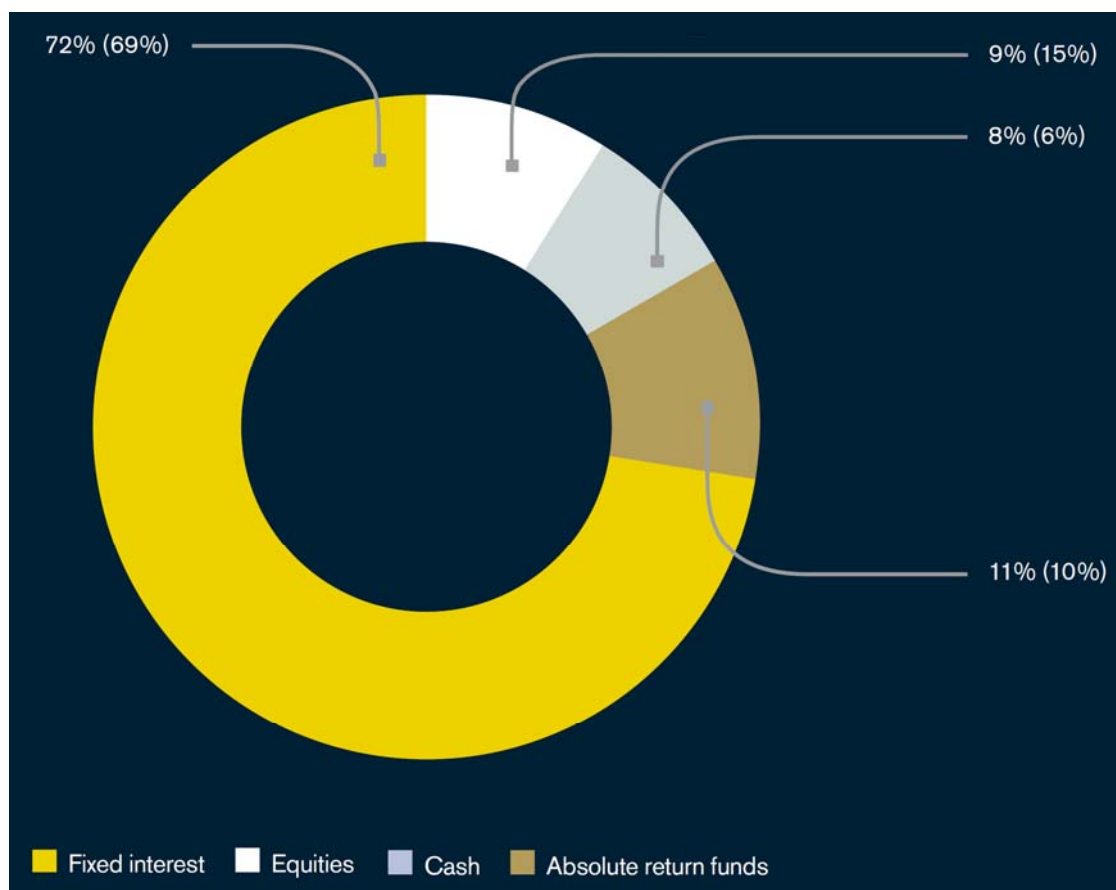
Net notified Pool claims as at 20th August 2011 (\$m)



## 投資ポートフォリオと投資成績

ポートフォリオのリスク軽減のため、2011年度9月にクラブの株式保有比率を10%以下に引下げました。

2011年9月時点のポートフォリオ（カッコ内は2011年2月時点の割合）



当クラブの保有する債券の99%はAランクあるいはそれ以上の格付債券です

### 投資成績及び投資方針

今期上半期の投資収益は1,450万ドル、投資利率は2%です。昨今の市場環境は、欧州諸国の公的債務危機や欧州銀行の信用低下、アメリカ経済回復への警戒感により、特に不安定さを増しています。当クラブは、9月に株式保有割合を15%から9%に落とすことで、ポートフォリオにおけるリスクの軽減を図りました。その資金を短期固定金利債権に投資した結果、固定金利債権の保有率は全ポートフォリオの72%にまで上昇しました。当クラブの保有する債券の99%は、Aランクあるいはそれ以上の格付債券です。

今後数カ月間の市況は、欧州の政府関係者の手腕にかかっています。クラブ理事会は、このような経済状況にもかかわらず、現時点ではリスク性の高い資産が適正価格を示していることを了承していますが、クラブにとって最も利益となるのは、短期でより保守的な投資スタンスを採用することと考えています。

UKクラブは  
メンバーの声に耳  
を傾け、  
将来に備えています。

## ソルベンシー2

当クラブでは、ソルベンシー2規制の施行に対応するための準備は大幅に、また実質的に進行しています。当クラブは、ソルベンシー2規制対応のために独自の内部モデルを策定することを英国金融庁（UK FSA）に申請し、これは了承されました。現在、内部モデルを完成すべく詰め作業を行っており、ソルベンシー2の施行スケジュールに沿ってUK FSAの承認を得るため申請書を提出する予定です。

## ハイブリッド資本

当クラブが2008年に発行したハイブリッド資本（永久劣後債）は、クラブ及びメンバーに多大な利益をもたらしています。この資本金は、現行のUK FSAの法規制の下で当クラブの法的資本金に数えられ、今後のソルベンシー2規制の準備段階の諸規制でも、同様に取り扱われます。これは当クラブが、メンバーの資金を法令遵守目的で保有する必要がないという事です。ハイブリッド資本で得た資金は、当クラブのその他資産と共に投資に回すことができるため、ハイブリッド資本にかかる費用は軽減されています。このハイブリッド資本は、ソルベンシー2規制の下で、保険者が保有すべき資本が未確定の状況でも、大きな資本効率性および柔軟性を当クラブにもたらしています。

## クラブの組織再編

他の多くの保険業者と同様、当クラブでも組織構造の見直しを行っています。当クラブは、規制対象となる子会社の数を減らすことは、企業ガバナンスの合理化、コンプライアンスのための諸費用そしてクラブのソルベンシー要求資本の効果的な管理など数多くの利益をもたらすことがわかりました。今後計画している組織再編の詳細について、近々クラブ管理者よりメンバーの皆様にご報告いたします。またクラブのウェブサイトにて、組織再編に関する専門ページを設置し、関連情報や進捗状況を開示して参ります。

## メンバー満足度調査

今年度、当クラブはメンバー及びブローカーの満足度調査を行いました。その調査結果は最近、印刷物及びウェブサイトで公表しています。この調査により、メンバーからは高く評価されているクラブの数多くの特徴について、今後さらに改善する余地があることを示唆しました。メンバーの平均満足度は10ポイント制で概ね8.14ポイント、ブローカーについては7.58ポイントでした。

